

事務事業名		雲南クリーンセンター負担金		所属部	水道局・上下水道部	所属課	総務課
総合計画体系	政策名	〈Ⅱ〉安全・安心で快適なまち〈定住環境〉		所属G	総務G		
	施策名	〈15〉下水道の整備		担当者名	山根 史朗		
	目的対象	市民	意図	衛生的な生活環境の中で暮らす。			
	基本事業	〈044〉下水道経営の安定化		予算科目	2:5:0:5	大事業名	03農業集落排水総務管理事業 04特定地域生活排水総務管理事業
目的対象	下水道接続済の市民		意図	健全な下水道事業経営により、安心して排水する。			
				0:5:0:1	中事業名	雲南クリーンセンター負担金	

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
農業集落排水、個別浄化槽の利用者	下水汚泥の共同一括処理
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(H29 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	雲南市、奥出雲町、飯南町で発生する下水道汚泥の共同処理を雲南広域連合で行う。 そのうち、農業集落排水事業、浄化槽事業分の負担金 (公共下水道、特定環境保全公共下水道事業分については、下水道事業会計で負担。)
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R4年度実績(R4年度に行った主な活動) 雲南広域連合との調整会議 負担金の支払い	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?) これまで個別に処理していた汚泥処理を、雲南クリーンセンターで一括処理する。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(実績)	R5年度(計画)
ア 農業集落排水等汚泥処理量	t	4,533	4,509	4,214	4,485
イ 浄化槽汚泥処理量	t	8,438	8,257	8,348	8,320
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R4年度決算)	② コストの推移	単位	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(計画)
雲南クリーンセンター負担金 77,576千円	財源内訳	国庫支出金	千円			
内訳		県支出金	千円			
農業集落排水汚泥処理費 26,023千円		地方債	千円			
浄化槽汚泥処理費 51,553千円		その他	千円	79,463	74,465	77,576
(下水道事業会計分)		一般財源	千円			
下水道汚泥処理費 71,246千円)	事業費計	千円	79,463	74,465	77,576	85,088

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	人口の減少により汚泥処理量は減となったものの全体に占める雲南市の汚泥処理量割合が増加したため負担金は増額となった。 (精算は翌年度に行う。)
② 事業実施するうえでの課題	汚泥の減量化が進まず、負担金の額を減らすことができない。
③ 課題解決に向けた改革改善等	雲南クリーンセンターが平成29年度からの稼働であり、今後の運用状況を注視していく。効率的な運営を目指し、1市2町で協議する。